



- ①よさを伸ばし合う子ども
- ②つながりを大切にする子ども
- ③自らとふるさとを拓く子ども



6月14日(金)



全校遠足

全校で男鹿水族館へ行きました。

縦割り班で館内を巡りながら、様々な生物を見て、海や川の生物の生態を学びました。

5・6年のリーダの下、しっかりと過ごすことができました。



浜辺に打ち上げられるたくさんのゴミから、SDGsの取組についても考えました。



磯遊び体験コーナーでは、みんな夢中になってヒトデや貝を触っていました。



間近で見るアシカは大きくて、びっくり。でも芸達者な姿にみんな釘付けでした。

花いっぱいになあれ!

6月17日(月) 花の苗植え作業

2校時は1・6年、3校時は2・5年、4校時は3・4年と、異学年交流をしながら花の苗植え作業を行いました。

下級生は上級生から指示を受けながら、ペアでプランターにベゴニアとマリーゴールドを植えました。

植えた花は子どもたちが水をやったり、周りの草取りをしたりして、お世話していきます。花があると学校の周りも学校の中も、そしてみんなの心の中も明るくなります。やさしく大切に育てていきたいと思えます。



豊かな自然を満喫!

6月19日(水) ジオサイト見学(4年)

山村広場周辺と御所の台でトレッキングを行いました。ガイドの方から説明を聞きながら、約1時間ほどのコースを散策しました。

途中、熊のツメ跡やモリアオガエルの卵を見付けました。また、桑の実を食べたり、変わったキノコを見付けたりして、白神山地を満喫しました。

暑い日でしたが、森の中はひんやりしていて気持ちがよかったです。

ふるさとのよさに触れ、充実した活動になりました。



基本的な生活習慣の定着のために

今週はヘルス&ハピネス週間でした。これは、児童の基本的な生活習慣の定着を図るため、月ごとにねらいを変えて全校で行う活動です。

今月は「ていねいな歯磨きにチャレンジ」です。学年の取組の結果は、児童玄関前に設置された『ヘルハピマシーン』に入れられたボールの数で表されます。

結果は概ね良好でした。今後も、ていねいな歯磨きを呼びかけていきます。



今週の一枚

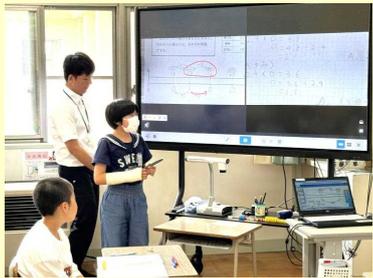
一・二年生は鉢植えへの水やりが日課です。二年生の育てている野菜もずいぶん大きくなりました。ミニトマトは実を付けています。やき豆は実を付けています。毎朝、生長を喜ぶ声が響いています。

授業研究会(5年・算数)がありました

6月18日(火)、算数の校内授業研究会がありました。5年学級担任の佐藤正磨先生と教育専門監の大高聖子先生のTT(チーム・ティーチング)授業です。

11月に授業を公開する、県ICT事業の事前研修会も兼ねており、県や町の指導主事の先生方も授業を参観しました。

子どもたちは挙手や発言も活発で、意欲をもって授業に臨む姿が見られました。お互いの考えをつなぎ合い、課題解決に向けて最後まで集中して授業に取り組みました。



他の友達の考え方を代わりに説明しています



タブレットを活用して、問題を解いています

プール清掃



6月20日(木)、プール清掃を5・6年生が行いました。

1年間、野ざらしになっていたプールは、落ち葉や砂など、様々なゴミでとても汚れていましたが、フルパワーで取り組んでくれたおかげで、見違えるほど綺麗になりました。5・6年生に感謝します。

あとは、プール開きを待つばかりです。もうすぐプールサイドに子どもたちの歓声が響きわたります。



ついで

先人の知恵に学ぶ



先週、全校遠足で男鹿水族館に行きましたが、たくさんのお生物が展示されている中で、惹きつけられたのが「アカハライモリ」でした。

元来、は虫類や両生類が好きなこともありすが、私が小さい頃は田んぼや池によくいて、つかまえて遊んでいた身近な小動物でした。お腹が毒しい赤色のため、触るのを避ける友達もいましたが、私にとっては動きや顔の愛らしさの方が勝っていました。最近は見かけることがなかったの、懐かしい思いになりました。

さて、昔から動物の行動を観察することで、天気を予測する方法が伝えられています。動物たちは私たち人間以上に自然の変化を敏感に感じ取っています。アカハライモリも例に漏れず、「アカハラがあぜにいてもうじき雨が降る」と言われ、天候の指標に使っていたそうです。

天気を知ることが今も昔も人々の生活にとって重要ですが、長期予報が難しい昔の方が、天候の良し悪しにより、大きな影響を受けていたに違いありません。だからこそ、空や雲、動物の動きなど、自分たちを取り巻く自然に目を向け、その異変を察知することで、様々な自然災害から生活や命を守ることに努めてきたのでしょう。

経験則で予測していた昔とは違い、様々な情報やデータで予測し、精度が向上して予報の幅も広がってきている現代であっても、時に、予測以上の気象災害が発生することがあります。秋田県もここ数年、大雨による被害が発生しているだけに、今年はないことを願うばかりです。



梅雨入りも間近です。自分たちでは変えられない天気ですが、自然と共存してきた先人の知恵から、何に注意を払ってきたのかを知り、日頃から自然に目を向けていくことも大切なのではないでしょうか。